

～下記の研究を行います～

『膵転移した腎細胞癌の細胞学的検討』

【研究責任者】津田絹恵

【研究の目的】腎細胞癌は肺、骨などに血行性転移しやすいことが知られているが、膵臓への転移は比較的まれである。しかし、膵臓超音波内視鏡ガイド下穿刺細胞診（EUS-FNA）にて経験する症例も増えているが、腎細胞癌は細胞異型に乏しく、細胞診の判定に苦慮することがある。そこで、EUS-FNAにて腎細胞癌と診断された症例について細胞学的検討を行う。

【研究の期間】研究許可日～2023年6月11日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2022年1月1日より、2022年11月30日までに当院にてEUS-FNAを施行し、腎細胞癌の転移と診断された方。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療情報（年齢・性別・CTなどの画像および所見、病理所見および画像、細胞診所見および画像等）

【研究の資金源】

記載すべき事項はありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 臨床検査科 臨床検査技師 津田絹恵